

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		中央土地区画整理事業		担当課	区画整理課	担当係	中央区画整理係	管理番号	47121	
総合計画	大項目	5 快適で利便性の高いまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1 都市整備の行き届いたまちづくり		根拠法令 個別計画等	土地区画整理法					
	小項目	1 良好な市街地・住環境形成の推進								
	主要プロジェクト									
事業概要		本事業は、中央土地区画整理事業地区の道路・公園等の公共施設を整備改善し、土地の区画を整え宅地の利用の増進を図る。 ・事業区域面積 23.3ha ・事業期間 平成10年度～令和10年度 ・街路延長 6,856m ・公園 4箇所 7,690㎡ ・建物移転棟数 784棟								
目的 ※何のために		商店街や業務施設の再整備を行い、快適かつ利便性のある空間を創出し、商業を中心とした中心市街地にふさわしい街づくりに寄与すること。								
対象 ※誰・何を対象に		中央土地区画整理事業地内								
手段 ※どのように		建物移転により公共施設用地を確保する。								
成果 ※何を求めるか		道路や公園を整備し、快適な居住環境を確保する。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	8	土木費	4	都市計画費	1	都市計画総務費	中央土地区画整理事業	536,473,638
本事業の 主な業務		・都市再生土地区画整理事業					・土地区画整理審議会			
		・諸証明の交付					・行政財産・公共施設管理			
		・移転補償					・工事請負・委託業務			
		・仮換地指定					・			
		・土地区画整理法第76条申請及び許可					・			
		・事業計画					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		建物物件調査 建物物件補償 各種委託 各種工事	建物物件調査 建物物件補償 各種委託 各種工事				
事業費	予算(現額)	877,361,000	630,698,000	762,629,000	656,181,000		
	決算額	773,057,206	536,473,638	0	0		
	財源内訳	国支出金	150,266,000	116,981,000	270,000,000	134,430,000	
		県支出金	23,630,000	25,006,000	102,666,000	16,010,000	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	5,521,905	5,275,340	4,225,000	5,275,000	
		一般財源	593,639,301	389,211,298	385,738,000	500,466,000	
人件費	従事職員数(人)	3.90	3.80	4.50	4.50		
	人件費相当試算※	30,271,469	29,904,317	36,883,742	36,883,742		
総事業費試算		803,328,675	566,377,955	799,512,742	693,064,742		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	中央土地区画整理審議会開催回数	目標値	回	1	1	1	1	1	1	
		実績値		1						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年 1 回の開催を目標とする。/年間の開催回数						
	実績値の算出式									
活動指標 2	移転交渉回数	目標値	回							
		実績値		1 1 3						
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
成果指標 1	事業進捗率	目標値	%	36.39	39.04	41.69	44.34	46.99	49.64	
		実績値		37.12						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			過去の実績状況等を踏まえ、今後の目標値を設定 / 執行事業費／全体事業費						
	実績値の算出式									
成果指標 2	建物移転率	目標値	%	52.02	54.57	57.12	59.67	62.22	64.77	
		実績値		52.93						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			過去の実績状況等を踏まえ、今後の目標値を設定 / 建物移転実績棟数／計画移転棟数						
	実績値の算出式									
成果指標 3	宅地の利用開始率	目標値	%	24.32	26.28	28.24	30.20	32.16	34.12	
		実績値		25.18						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			過去の実績状況等を踏まえ、今後の目標値を設定 / 使用収益開始面積／総面積（宅地						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	中央土地区画整理審議会については、目標どおり開催できたことから評価をAとした。なお、移転交渉については、権利者と必要に応じて交渉を行うため、それに伴い移転交渉回数は推移する。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	事業進捗率、建物移転率及び宅地の利用開始率について、全ての指標が目標値を上回ることができたため、評価をAとした。
			評価者 中央区画整理係長 福地 孝明

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	建物移転後の使用収益停止した従前地（市管理地）において、ここを仮換地として使用収益開始するまでの間、駐車場等の使用希望者に対して貸し出しを行った。これにより、その土地貸付収入を得て事業費に充てることにより、コスト面における事業の効率化を図ることができたことから評価をAとした。
			評価者 中央区画整理係長 福地 孝明

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	開通した「市役所通り」を、深谷市の新たなシンボルロードとなるよう整備する。
達成状況及び その効果	市役所通りの歩道については、型押し式カラーAS舗装、街路灯及び街路樹を整備することにより、深谷駅前のシンボルロードに相応しい道路とすることができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	中央土地区画整理事業	担当課	区画整理課	担当係	中央区画整理係	管理番号	47121
<div>■ ①拡充, 重点化(コスト投入)</div> <div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div> <div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div> <div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div> <div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div>		評価の内容説明					
		中央地区は、地区全体が宅地化されているため移転先となる用地が少なく、また、複雑な権利関係により建物移転が難しい状況である。このため事業の進捗が計画通り進んでいないことから、取り壊し可能な空き家調査や積極的な移転交渉等を行うことにより、事業用地の確保に努め、進捗を加速させる必要があることから、①拡充、重点化とした。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	区画整理課長 大澤 昭仁				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	地区内の老朽化した空き家等を調査し、権利者へ取り壊し等の意向を確認する。また、建物移転を加速させるとともに、レンガ通り等の道路整備に向けた設計を進める。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	建物等の取り壊しが可能な権利者と移転補償による取り壊しの交渉を進めるとともに、仮換地先や道路等の事業用地を確保し、建物移転や道路整備を進めることにより事業の進捗を図る。

8. 評価指標グラフ

